

総合的な学習の時間 学習指導案（改正版）

日 時：令和元年11月26日（火）第5校時
学 級：1年A組23名（男子12名、女子11名）
場 所：1年A組教室
授業者：川瀬 貴之

1 単元名 「職場見学から学んだこと」

2 指導の立場

(1) 単元目標

中学校学習指導要領では、目標について以下のようにある。

目標（4）問題の解決や探究活動を主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てること
《一部抜粋》

これからの社会においては、「自己との対話を重ねつつ、他者や社会、自然や環境と共に生きる、積極的な「開かれた個」であることが求められる」と指摘されたように、他者と協力しながら身近な地域社会の課題の解決に主体的に参画し、その発展に貢献しようとする態度をはぐくむことが必要とされる。

例えば、友達と協同して取り組むことで、学習活動が発展したり課題への意識が高まったりして、問題への解決や探究活動の質が高まる。また、異なる見方があることで解決への糸口もつかみやすくなる。このように、問題の解決や探究活動においては、友達などと協同して取り組むことが大切である。友達と一緒に活動したり話し合ったりしながら、自己を振り返り自分の考えや意見を再構築していく。

目標（5）自己の生き方を考えることができるようにすること

《一部抜粋》

総合的な学習の時間においては、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自己の生き方を考えることができるようにすることが大切である。「自己の生き方を考えることができる」とは、以下の三つのことである。

一つには、人や社会、自然とのかかわりにおいて、自らの生活や行動について考えていくことである。

二つには、自分にとっての学ぶことの意味や価値を考えていくことである。

これらの二つを生かしながら、学んだことを現在及び将来の自己の生き方につなげて考えることが三つ目である。

生徒はこれまでに、キャリア学習を進めるにあたり、特別活動の補助教材「生きる」を活用してきた。そこでは、将来の夢や希望について理由と共に考え、その後、その夢や希望の実現のためにどのような努力が必要なのか考えてきた。さらに、身近な人々の職業を調査し、身近な人々の職業や仕事に対する思いを知り、働くことについてどのように思ったのか、まとめた。そこで、本単元では、仕事をする人の範囲を広げ、地域の事業所から働く意義ややりがいを学ぶ学習活動を設定した。職場見学では、実際に働いてみえる姿を見学したり、質疑応答で働く人の話を聞いたりして、働くことの喜びややりがい、厳しさなどを知ることができた。

本時では、職場見学を通して学んだことを、班の仲間と共に整理し、学級の仲間伝える活動を行うことで、働くことの意義に対して、自分の考えを再構築できるようにしていきたいと考える。自分の今までの生き方を振り返ったり、今後の生き方について考えたりすることができるようにしたい。

3 生徒の実態

将来の夢や希望が決まっていない生徒は4人、～関係の仕事に興味があると答えた生徒は8人いて、全体の半数以上を占めている。その要因として、「働くのはまだまだ先だから、これから考えればいいや。」や「どんな職業があるのかわからない。」などのような考えがあることが推測される。そこで、身近な人の職業調べや地域の企業の調べ学習などを通して、職業に対する理解を深めることができるようにした。

また、社会科や道徳の授業で行ったディベート形式の授業では、仲間と話し合っ問題解決することができつつある。そこで、本時は班活動が中心となるが、伝えることを視点としていくことで、班内での話し合いを活性化し、職場見学で学んだことを工夫してまとめることができると考える。

4 研究主題に関わって

〈研究主題〉

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、
よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する
総合的な時間の在り方

〈研究内容〉

- ① 展開場面における、職場見学で学んだことを整理し、仲間と話し合いながらまとめる活動の位置付け
 - ・「仕事の内容について」や「仕事をするなかで工夫していることについて」、「仕事をするなかで、うれしかったことや喜びを感じたことについて」、「仕事をするなかで、苦しかったことやつらかったことについて」の4項目に分け、模造紙にまとめることで、学んだことを整理しやすくする。
 - ・班長を中心にして、班内で話し合い、練り合う時間を確保することで、仲間に分かりやすく伝えるためにはどうしたらよいか、自分たちでキーワードやレイアウトなどを考えることができるようにする。
- ② 終末場面における、職場見学で学んだことをもとに、自分の生き方を振り返り、よりよい生き方を追究する活動の位置付け
 - ・職場見学で学んだことを、これからの自分の生活にどのように生かしていくか考える場を設定することによって、生き方とつなげて考えることができるようにする。

4 本時のねらい

職場見学で学んだことを整理することを通して、職業や働くことの意義について理解を深めるとともに、自分のこれからの生き方について考えることができる。【キャリアプランニング能力】

5 本時の展開

過程	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助
つ か む	<p>1 本時の課題を設定する。</p> <p>職場見学で学んだことを整理し、伝えることを通して、自分のこれからの生き方について考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の流れを掲示することで、見通しをもって授業に臨むことができるようにする。 ・イビデン大垣北工場での学習が想起できるように、職場見学の写真を提示する。
考 え	<p>2 自分のプリントをもとに、職場見学で学んだことを4つの項目に分類し、付箋に書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イビデンでは、主に基板を生産している・・・（仕事内容）緑 ・イビデンでは、社員を海外に派遣するために、海外の語学力の研修に力を入れている・・・（工夫）黄 ・自社製品の開発の提案を採用してもらったときに喜びを感じた・・・（やりがい）ピンク ・夜勤のときはとても眠くて、起きたり仕事をしたりするのが大変だった・・・（厳しさ）青 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを、同級生や下級生に伝えるという目的意識を持つことを伝える。 ・職場見学で学んだことを4色の付箋に書き出すことで、仕事の内容、工夫していること、うれしかったことや喜びを感じたこと、苦しかったことやつらかったことの4項目に整理しやすいようにする。 ・各項目について、一人2枚は書くことを指定し、それ以上書くことができた生徒を認め、励ます。
考 え る	<p>3 班隊形になり、班で1枚の模造紙に班員の付箋を4つの項目に分類した後、話し合ってから書き出す内容を1つにしぼる。その後、A3の紙に書き出す。</p> <p>（仕事の内容）右上 （仕事をするなかで工夫していることについて）左上 （仕事をするなかで、うれしかったことや喜びを感じたことについて）右下 （仕事をするなかで、苦しかったことやつらかったことについて）右下</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班長が中心となって、班での学習活動をリードするよう促す。 ・各自が書いた付箋を、模造紙のそれぞれの位置に貼って整理するよう促す。 ・各項目一つずつ書き出す内容をしぼるために、一番伝えたいことは何か、班員とじっくり話し合う時間を確保する。
深 め る	<p>4 話し合ったことをもとに、班ごとに模造紙1枚に書いてまとめる。その後、班で発表練習をする。</p> <p>5 教師が指名した班が発表し、その発表に対してどんな点がよかったのか、意見を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に分かりやすく伝えるためにキーワードを使ったり、絵などを描いたりしてまとめることも大切であることを伝える。 ・指名した班が発表する前に、どんな点が分かりやすかったのか、また、どんな点をもう少し工夫するとよかったのか、具体的にアドバイスができるように聞くことを確認する。
ま と め る	<p>6 今日の学習を振り返り、学んだことをこれからの生活にどのように生かしていくのか考える。（プリント）</p> <p>職場見学で働く人たちの働きぶりや話から、働くことに対する喜びや楽しさ、やりがいだけでなく、厳しさもあることが分かりました。私はふだん、眠いとすぐ寝てしまい、勉強を後回しにして、苦しいことから逃げてしまっているため、これからは苦しいことに負けずに頑張りたいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの生き方について具体的に考えている生徒を指名することでよい考え方を学級に広める。 <p>《評価規準》 職場見学で学んだことを整理することを通して、職業や働くことの意義について理解を深めるとともに、これからの自分の生き方について考えている。【キャリアプランニング能力】</p>